



# Nagoya GRAMPUS

## 名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ

NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,  
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 In sharing we have forever “いつもわかち合いの心を”
- ② アジア会長標語 Think ASIA think Y' SDOM “考えようアジアとワイズ”
- ③ 日本区理事標語 Create a new age “創造しよう新時代”
- ④ 中部部長標語 伸ばそう中部にワイズの輪
- ⑤ 会長標語 温かい心で、まず右手をあげよう。

1994年 4月号

### 〈今月の聖句〉

わたしたちの兄弟たちよ、あなたがたが、いろいろな試練に合った場合、それをむしろ非常に喜ばしいおとと思いなさい。あなたがたが知っているとおおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

(ヤコブの手紙 第1章2節～3節)

強調月間: L T

## グランパストーク

### 飴細工の叔父さんはどこに

林 勝博

今のところ、日本はバブル不況の真っ只中である。しかし、喉元過ぎれば・・・？

司法書士の仕事のうち、不動産の取引に関する仕事が多い。バブルが始まる前は3000万円位の不動産が5000万円、1億円と値段がつり上がっていく。裏付けは何もない価格の上昇である。手持資金あろうがなかろうが、座視していると時代の流れに取り残されそうな気がして、誰もがこのマネーゲームにのめり込んだ。

さて、バブルが崩壊した平成不況は今のところ出口

が見えないようである。しかし、最近の一戸建、分譲マンションの好調な販売のせいか、既に東京では大手デベロッパーは土地を買いあさりつつあるようである。そのうちに、名古屋圏にも波及するかもしれない。

日本中がいつも全てが金太郎飴のような気がする。どこを切っても同じである。ゴルフ場ばかり、リゾートマンションばかり、定期借地権付住宅の分譲ばかりである。平成の米騒動も根は同じではないだろうか。飴には金太郎飴以外にも沢山の種類がある。昔、子供の遊ぶ広場に自転車でやって来て、一つの飴から木に登るサルやら鳥やら色々な形のものを作り出した飴細工の叔父さんの手つきが思い出される。

(次号は三井秀和兄です4月18日までに吉田一へ)

### 1994年4月例会のご案内

#### 第一例会

と き；4月11日(月)19時～21時

と ころ；名古屋不二パークホテル

TEL 962-2289

ドライバー：林 勝博君、アシスト：井川幸吉君

入会式：早川隆君

卓話：“フィリピンワークキャンプ報告”

講師：木野村 映君(連絡主事)

木野村兄は第16回フィリピンワークキャンプの団長として、3月3日に出発4月1日までの1ヶ月間ネグロス島で日比の若者のワークキャンプに参加されました。

帰国直後のホットな体験と現地報告です。

〈第一例会の欠席の連絡、及びゲストの同伴の連絡は食事の都合上必ずドライバー又は連絡主事へ4月8日までにして下さい。〉

#### 第二例会

と き；4月26日(火) 19時～20時30分

と ころ；名古屋YMCA(上前津)

#### 〈予告〉

恒例の一泊例会の日程が決まりました。

と き：7月9日(土)夕～10日(日)昼

と ころ：鞍ヶ池センター(豊田市)

3月22日現在	例 会 出 席 状 況				B F ポ イ ン ト		ク ラ ブ フ ァ ン ド ( 3 月 )	
	在 籍 者	23名	第 1 例 会	16名	当 月 ・ 切 手	—	ニ コ B O X ノ ー ト	—
	例 会 出 席 者	20名	第 2 例 会	8名	当 月 ・ 現 金	—	フ ェ ン ド	—
当 月 出 席 率	87%	部 会 他	12名	累 計	—	合 計	—	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”  
＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う＝

## 第一例会報告

「国際社会の中の日本」

講師 Dr BUI CHI TRUNG氏

ブイ チ トルン

ドライバー 滝川 眞充

アシスト 荒川 恭次

余寒なお厳しい3月弥生14日、第一例会が不二パークホテルにて開かれました。今回は、現在財団法人、豊田市国際交流協会事務局長であるドクター・ブイ・チ・トルン氏を招いて、〈国際社会の中の日本〉と題して講演をしていただきました。

トルン氏は、現在43歳、サイゴン大理学部を25年前中退され来日してから名大大学院卒後、農学博士となられた方で、20年前より愛知留学生会の役員および会長等も務められました。トルン氏は国際社会の中の日本との観点から現在の日本をみると4つの事を日本の問題として指摘されました。

まず1つ目としては、戦後50年近く余りにも内的に波風がたたずして現在の繁栄にのぼりつめた事が問題ではないかと指摘をされました、世界中の国の中でたとえば（戦後）とわれわれが常に使う言葉は、日本人しか使わないとの事で、現在繁栄の極致を築いたアメリカでさえ、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争、ソマリア派兵等の自国の国民の犠牲を払ってきた事実、それと前項に書いた（内的）の言葉には日本社会との意味だけではなく、たとえば近隣諸国との過去の戦争の係わりについて学校教育等がなされていないとの事で先年学校で使われる教科書の記述についてのアジア各国からの抗議がこの事を示している。当事者の責任として後世まで事実を正確に国民に対して伝えていかないといけないのではないかの意見。—今では水と空気と平和はただではやってこない—

2つ目として、環境問題 現在日本国内での食物自給率は約30%まで低落し、この30%

のほとんどは米が大多数で、その米でさえタイ、アメリカ、中国、等から輸入しなければならない状況となっている。世界中で米の流通は、1,200万トンその1/6をも日本が緊急に買い付けをしてしまうと、貧しい国が米の買い入れ価格の上昇に大きな影響を受ける事、この事はいま農家には後継者がいず農地が劇的に減っている事つまり国策としての農政、税務、教育等のひずみが大変な影響を及ぼしている。またタイでの日本向けの海老の養殖にての現地での環境破壊、南洋材が原料の紙類の膨大な消費が起こす広大な森林伐採、これらの事は各種の環境問題をそれらを消費する日本人我々が問題化していないのはいか、また日本企業が開発しきってはコストが安い国を探しまたそこに劇的な環境変化を持ち込む、この繰り返しもそろそろ真剣に考えなければ大きなツケとして我々日本人に回ってくるのが目に見えてくる、との指摘をされた。

3つ目として人権問題 バブル絶世期に採用された外国人の方々がいまの不景気の日本でどのようになっているのか皆さんも御存知のことと思います、ただの法的な手順での問題だけではなく、もっと「国際化」と常日ごろいっているのである以上、真に人間としての平等なレベルでの解決策があるはずではないか。また在日している外国人に対しての従来から法律、そしてある種の偏見が認識としてあいも変わらないことに対する指摘。

4つ目として 日本の国際社会に対する政治的变化 過日細川首相がクリントン大統領との協議において、「ノー」といったとことが報道されたが、現在の国際社会においての日本は決して大人の関係を持っているとはいえない。何故ならば日本は甘い構図で50年、エコノミックアニマルといわれながら成長繁栄してきたが、それは戦後、裸同然からがむしゃに働き、がんばってきた人々の努力と、アメリカの極東における戦後からの戦略的政

策等の恩恵があったのも、認めなければならぬ。

しかし今、若い人達には繁栄の中に育って来てその苦い経験も歴史的なアメリカの日本政策も理解していないのではないのか、決して安易に国際化と言わずに先に述べた過去からの日本と世界の関係を正確に理解し、世界とくにアジアの隣国との平等な付き合いを常に各自が考えることがよりよい国策社会の構築につながるのと指摘。

トルン氏は以上の4つの問題を指摘されました、ビジネススペースでの話と違い考えさせられることの多い講演でした。

当日はこの他ゲストとしてキリスト教社会館の山本主事、名古屋クラブの尾崎会長、石垣氏もお見えになりそれぞれお話しと援助(別記事参照)の要請がありました。

又浅野中部部長の公式訪問もあり特にEMCについてもっと強力な活動をとの要請がありました。

ゲスト、浅野中部部長(東海)、尾崎氏・石垣氏(名古屋)、キリスト教社会館山本氏

### グランバス スプリングスキー ツアー

2月27日(日)前日の天気予報では朝は平年並みの冷え込みで、日中は晴天とのことでしたが、予報通りの最高のスキー日和の朝、会長坂口氏の新車が知多の武豊より妻君と友人を乗せて、途中緑区で坂倉親子3名、豊田の猿投で三井親子2名を拾いながら。一方荒川君のまたしても新車に妻君とお嬢さんを乗せ中川区を出発し、名東区の上社で加藤女史と油口君と彼のガールフレンドを乗せながら総勢12名で一路長野県の治部坂高原スキー場へ向かう事となりました。

目的の治部坂高原スキー場までは名古屋より約110km、猿投グリーンロードを走り国道153号線をひたすら飯田方面に向かって1時間30分、長野県治部坂高原に10時すぎに着き

ました。前日の情報はではスキー場はガラガラで一日中スキーをすべれるとの話でしたが、なんと着いたそこには正月の熱田神宮並みに人、人、…駐車場へも近寄れず急ぎよ10分ぐらい先にあるアララギ高原スキー場に変更しました。

アララギ高原スキー場も混んでいましたが、20分ほどで無事駐車でき一行さっそくスキーウェアに着替えると思いきややはり、リフト待ちの長蛇の列がそこに在るのを見てしまったらスキーはやめて温泉に行きたいとか、ビールはどこに有るのかとか、いろいろの会話が始まり、子供と若手の何人かはゲレンデへ行ったが残った人で豚汁を造り、つまみのお菓子と珍味を広げればそこは宴会場と変わったのであります。通常午後になればスキー客も帰り始めるのが昼過ぎにはリフト待ちの列がさらに伸び、また酔いが廻るのも手伝って、2時過ぎには近くの昼神温泉に在る村営の温泉ふろへ向かったのであります。

昼神温泉の湯につかりながら「やはりスキーは平日に限る」との話になり、早々にスキー



板をつんだ車がつながる中央高速道で家路に向かう事になり、楽しい? スキーツアーでありました。坂口君、荒川君、新車が泥と菓子くずで汚れて悪かったですね、今後またプログラムに提供してください。お疲れ様でした。

### 第61回ワイズメンズクラブ国際大会

と き：7月20日（水）～23日（土）  
 ところ：シンガポール“オーチャードホテル”  
 大会登録費：大人44,000円  
 7月19日（火）出発、24日（日）帰国135,000円のワイズツアーがあります。この他にも各種ツアーがあります。詳細は会長まで。

#### <名古屋キリスト教社会館>

##### 南部地域療育センター建設に献金

3月第一例会でゲストとして参加された山本主事のアピールに応え、当日のニコノート分15,000円を贈呈しました。

南区に建設を計画されている総合福祉センター（老人デイケアセンター、学童、乳児保育所、障害者療育等の総合施設）建設費4億円の内1億円を募金によりまかなう為、現在各地を回っておられるとのこと。グランパスとしても卓話等でもう少し詳しい内容を聞き協力できることを考えて行きたいものです。

#### <朝禱会全国大会（5月名古屋で開催）に対する支援の要請>

3月第一例会でゲストとして参加された名古屋クラブ石垣氏、尾崎氏より名古屋YMC A活動支援の一環として支援要請がありました。第二例会で協議の上取扱いを決める予定です。

#### フィリピンワークキャンプ結団式と壮行会

3月2日に行なわれた第16回フィリピンワークキャンプの結団式と壮行会には坂口会長以下10名のメンバーが出席、壮行会で手作りのカレーうどんとフルーツポンチをサービスして大好評でした。

例年送り出す人の少ないこの会も今年は暖かいカレーうどんと、甘いフルーツポンチも加わり雰囲気も上々、参加したグランパスメンバーもワークキャンプ参加者の熱い思いを

### 93-94 出席表

94.3.22

No	例 会 氏 名	1/10 第一例会	1/25 第二例会	2/14 第一例会	2/22 第二例会	2/26 スキー	3/2 フィリビ	3/14 第一例会	3/22 第二例会	出席ポイント
1	阿部 一雄	○	○	○	○	○	○	○	○	20
2	荒川 恭次	○	○	○	○	○	○	○	○	13
3	井川 幸吉	○	○	○	○	○	○	○	○	16
4	池野 輝昭	○	○	○	○	○	○	○	○	15
5	内垣内登壘	○	○	○	○	○	○	○	○	9
6	馬場寅太郎	○	○	○	○	○	○	○	○	15
7	尾崎 史郎	○	○	○	○	○	○	○	○	17
8	加藤 道子	○	○	○	○	○	○	○	○	15
9	坂口 功祐	○	○	○	○	○	○	○	○	26
10	坂倉 洋	○	○	○	○	○	○	○	○	17
11	佐藤 壽晃	○	○	○	○	○	○	○	○	14
12	滝川 眞充	○	○	○	○	○	○	○	○	19
13	林 勝博	○	○	○	○	○	○	○	○	8
14	三井 秀和	○	○	○	○	○	○	○	○	24
15	宮木常二郎	○	○	○	○	○	○	○	○	6
16	油口 直広	○	○	○	○	○	○	○	○	17
17	吉田 一誠	○	○	○	○	○	○	○	○	29
18	吉田 正	○	○	○	○	○	○	○	○	21
19	高橋 栄造	○	○	○	○	○	○	○	○	3
20	丹羽 真清	○	○	○	○	○	○	○	○	19
21	木野村 映	○	○	○	○	○	○	○	○	21
22	坂野 清治	○	○	○	○	○	○	○	○	8
23	服部 庄三	○	○	○	○	○	○	○	○	10

聞くことができより理解を深めることができました。団長の木野村兄への力強い励ましにもなったものと思われま。

結団式ではクラブから“野球道具一式”の目録を贈呈しました。

このキャンプの報告は4月第一例会の卓話で木野村主事が行ないます。乞ご期待！

#### 3月第二例会報告

1. 西副区大会（熊本）参加予定者  
坂口、池野、三井、丹羽、吉田一
2. 中部部会参加予定者  
三井、坂口、吉田一
3. 5月第一例会、池野、三井コンビにより  
楽しい企画をお願いする。
4. 5月15日（日）ファミリー例会として潮干狩を計画する。